

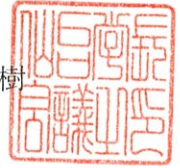
2022（令和4）年6月23日

一般社団法人宮城県経営者協会

会長 海輪 誠 殿

仙台学長会議加盟大学代表

東北学院大学 学長 大西 晴樹



【要望書】 コロナ禍における宮城・仙台地区新規大卒者等採用支援のお願い

常日頃、新規大卒者等の採用に関してご高配を賜り感謝申し上げます。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、新規大卒者等の採用環境が一変し、これまでにない厳しい状況下での就職活動となりました。今年度も引き続き厳しい環境の中での就職活動が予想されておりますが、状況は少しずつ改善に向かっていきます。

昨年はオンライン開催となった各就職情報会社主催の就職合同セミナーは、宮城県において2022年2月から3月上旬にかけて、感染対策を徹底しながら対面により実施され、学生は久しぶりにコロナ禍前に近い就職情報の収集を行うことが出来ました。県内企業におかれましても対面と平行してオンラインによる採用活動の整備が行われ、全国的にも採用活動が止まることなく学生は就職活動を進められています。

東北財務局によると、「県内経済は新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しつつある」という総括判断を行なっております。それにより感染対策の徹底や各種政策の効果もあって、今後も持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、感染症による地域経済への影響を注視する必要があるとの見通しをもっています。

来春2023年3月卒業予定の大学生・大学院生対象の大卒求人倍率は1.58倍と、2022年卒の1.50倍より0.08ポイント上昇しており、回復傾向にあります。

しかし、コロナ禍前のような1.6倍以上の水準までは戻ってはならず、不透明な景況感、地政学的リスクの上昇、原材料価格の高騰などにより、従業員規模300人未満企業で、採用意欲回復に力強さを欠く結果となっております。（以上、リクルート・ワークス研究所調査）。

宮城・仙台地区においては、これから新規大卒者等の採用本格化の時期となりますが、どうか、このコロナ禍によって採用者数を手控えることのないよう特段のご高配を賜ればと切に願うところであります。

また、仙台学長会議の個々の加盟校からは、以下のような具体的な要望が出ておりますことを申し添えておきます。

- ① コロナ禍の中で昨年度に大きく変化した各企業の採用姿勢について、引き続き最新の情報を学生に広く提供していただくこと
- ② インターネット等を通じたウェブ面接なども含めて、学生との幅広いコミュニケーション（採用面接）の拡大等もご考慮いただくこと
- ③ 昨年度に比べて早期化が予想される採用活動について、学生の就職活動状況を考慮して、採用選考期間を延長していただくこと
- ④ 新型コロナウイルス感染症に伴い平日の授業スケジュールが過密状態にあることから、場合によっては土日・祝日等での採用試験実施についてご配慮いただきたいこと

新型コロナウイルス感染拡大等、余談を許さぬ状況下にあります。厳しい状況にある景気も、産業構造の変化を伴いながら、ポスト・コロナの「新しい日常」「新しい生活」と共に回復するものであります。

各企業の皆様におかれましても採用の手控えによる特定の年齢層の人材不足は、事業継続の妨げとなると同時に、市場における購買力の低下の原因ともなりますので、引き続き宮城・仙台地区においても、地域の企業と大学が手を携え、協力し合いながら、この難局を地域経済の繁栄に変えていくことができたらと願っております。

かような事情をご賢察のうえ、何卒新規大卒者等の採用支援にご尽力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

以下、加盟大学 学長連名（順不同）

石巻専修大学 学長 尾池 守

尚綱学院大学 学長 鈴木 道子

聖和学園短期大学 学長 吉川 和夫

仙台赤門短期大学 学長 佐竹 正延

仙台白百合女子大学 学長 矢口 洋生

仙台青葉学院短期大学学長 田林 暁一

仙台大学 学長 高橋 仁

東北学院大学 学長 大西 晴樹

東北芸術工科大学 学長 中山ダイスケ

東北工業大学 学長 渡邊 浩文

東北生活文化大学

東北生活文化大学短期大学部

学長 佐藤 一郎

東北大学 総長 大野 英男

東北福祉大学 学長 千葉 公慈

東北文化学園大学 学長 加賀谷 豊

東北医科薬科大学 学長 高柳 元明

宮城学院女子大学 学長 末光 眞希

宮城教育大学 学長 村松 隆

宮城誠真短期大学 学長 山口 義康

宮城大学 学長 川上 伸昭

以上